



協会ニュース

vol. 57

目次

- ◇平成28年度
三重県医療ソーシャルワーカー協会
総会・記念講演報告
- ◇新加入会員紹介
- ◇病院紹介
- ◇協会トピックス
- ◇今後の研修案内
- ◇編集後記

平成28年度 三重県医療ソーシャルワーカー協会 総会・記念講演 報告

日時:平成28年4月24日(日)
場所:三重県教育文化会館 多目的ホール

〈総会〉

出席者101名、委任状31名(計132名)で、会員の過半数を
超えるため、本会は成立。

第1号議案 平成27年度事業報告及び収支決算報告 →可決。

第2号議案 平成28年度事業計画及び予算案報告 →可決。

第3号議案 役員改選 理事・監事候補者 →承認。

役職	氏名	所属機関	担当
会長	山田 剛	介護老人保健施設 みえ川村老健	事務局
副会長	伊藤 隆博	主体会病院	研修
副会長	鈴木 志保子	三重大学医学部附属病院	研修
理事	角谷 舞	伊勢赤十字病院	研修
理事	高村 純子	国立病院機構 三重病院	研修
理事	田邊 有紀	名張市立病院	研修
理事	脇海道 友美	伊勢赤十字老人保健施設 虹の苑	研修
理事	川口 恵生	小山田記念温泉病院	調査・研究
理事	前田 小百合	三重県立志摩病院	調査・研究
理事	山浦 康孝	桑名東医療センター	調査・研究
理事	天野 絵里加	みたき総合病院	広報
理事	丹羽 香織	市立四日市病院	広報
理事	松田 美穂	岡波総合病院	広報
監事	中森 直美	居宅介護支援事業所 おかなみ	
監事	森川 幸雄	三重県医療ソーシャルワーカー協会元副会長	

〈記念講演〉

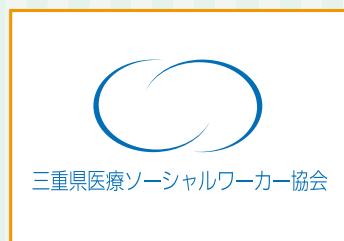
「専門職としての医療ソーシャルワーカーの
成長を考える～歴史とその実践から～」
講師:金城学院大学 浅野 正嗣 氏

MSWとして長く携われておられる経験から、ソーシャルワーカーの歴史的な歩み、ソーシャルワークとは何か、求められる職員像やスーパービジョンの必要性等を講義していただき、専門職として成長していくことの大切さを学びました。

〈その他〉

三重県医療ソーシャルワーカー協会のロゴが決定。

- ①医療ソーシャルワーカーとして必要な連携と協働、さらには目標の共有を図案化
- ②社会的排除を無くし、全ての人を包み込む『ソーシャルインクルージョン』とその実現に向けたソーシャルアクションとエンパワメントへの無限の可能性をイメージ化



新加入会員紹介

今年もたくさんの方が新入会されました。皆さまどうぞよろしくお願ひします。

 <p>医療法人 普照会 もりえい病院</p> <p>まさ あつし 牧 篤志</p> <p>これまでのケアマネジャーの経験を活かして、これからは医療保険や社会福祉制度をふまえた相談援助業務が出来るように頑張りたいです。</p>	 <p>桑名東医療センター</p> <p>ごとう ゆきこ 後藤 由紀子</p> <p>北海道釧路市出身。17年前に桑名の人と結婚し3人の子供と5人暮らし。自分の時間が少しずつできてきて、趣味や仕事ができるようになり、楽しい日々を送っています。</p>	 <p>桑名東医療センター</p> <p>かめい くみこ 亀井 久美子</p> <p>鈴鹿出身、高卒後横浜の看護学校へ。その後、東京で看護師25年、看護教員10年。未婚、子供なし、一人で自由に生活してきました。運動、お酒大好き。しかし、運動は老化現象のため控えめにしています。</p>	 <p>孤野厚生病院</p> <p>おほのみや まり 大宮 麻里</p> <p>医療ソーシャルワーカーだけでなく社会人としても新人な私ですが、めげずに日々成長を目標に頑張ります。よろしくお願ひします。</p>	 <p>鈴鹿中央総合病院</p> <p>おほがみ ひでつぐ 大神 英嗣</p> <p>三重県出身ですが、働くのは初めてです。座右の銘は“適当(いい意味で)”です。これから宜しくお願ひします。</p>
 <p>鈴鹿中央総合病院</p> <p>おおいし ゆうや 大西 悠介</p> <p>4月から新卒で入職しました大西です。まだまだ分からないことも多く、先輩方や、他職種、他機関の方にご迷惑をかけることが多ありますが、毎日の職務に全力で取り組んでいます。</p>	 <p>三重大学医学部附属病院</p> <p>はまなか かずや 濱岡 和弥</p> <p>これから医療ソーシャルワーカーとして精一杯業務に取り組むとともに、ソーシャルワーカーの発展にも努めていきたいと思っています。よろしくお願ひします。</p>	 <p>三重県がん相談支援センター</p> <p>きたむら しずこ 北村 周子</p> <p>地域で療養するがん患者さんや家族・遺族の支援に関わっています。プライベートは、ガーデニングと花の刺繍を楽しんでいます。</p>	 <p>榊原温泉病院</p> <p>きむら ともみ 木村 友美</p> <p>よろしくお願ひ致します。</p>	 <p>済生会明和病院</p> <p>とまり わかな 泊 若奈</p> <p>4月から三重県MSW協会に入会させて頂きました。わからないことも多いと思いますが、よろしくお願ひします。</p>
 <p>伊勢赤十字病院</p> <p>まつば ちか 松葉 雅加</p> <p>退院調整看護師を経て、MSWになりました。気持ちを新たに、これまでの経験を活かして、頑張っていきたいと思っています。</p>	 <p>田中病院</p> <p>はたなか よしこ 坂野 吉子</p> <p>介護老人福祉施設で勤務していました。病院勤務は初めてなので日々新しい事ばかりです。今は入院支援業務が主体なのでこれから業務の見直し、など必要になると思います。性格は勤務中はさっぱりしますが、くよくよしません。オフのときは正反對になります。本当に新人なので日々新しい事ばかりです。研修に出来るだけ出席して勉強します。宜しくお願ひします。</p>	 <p>岡波総合病院</p> <p>なかした ゆかり 中下 由香里</p> <p>患者さん一人一人に寄り添って頂ける相談になれるよう頑張っています。宜しくお願ひします。</p>	 <p>名張市立病院</p> <p>うえむら まい 上脇 麻由</p> <p>まだまだ未熟者でご迷惑をお掛けするかと思いますが、これからしっかり学んでいこうと思いますので、よろしくお願ひします。</p>	

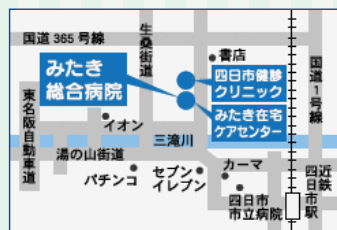
病院紹介 《みたき総合病院》

第1回目は、みたき総合病院さんからの報告です。病院概要や地域医療連携室での業務の様子、病院近隣のおすすめグルメまで情報満載で紹介していただきました。

1. 病院について

当院は、『私たちは、創造的で、あたたかく、優しい保健、医療や福祉を心がけ、地域とともに歩みます。』を基本理念として掲げ、平成12年、四日市市生桑町に開設しました。同法人の施設として四日市健診クリニック、グループ法人・医療法人尚徳会としてヨナハ総合病院、ヨナハ介護老人保健施設(桑名市)、湯の山介護老人保健施設(孤野町)等があります。

病床数は、産婦人科病棟42床、一般病棟44床、回復期リハビリテーション病棟(以下、回復期病棟)44床、医療療養型病棟44床の計174床となっています。また、在宅生活を支援する隣接の「みたき在宅ケアセンター」では、居宅介護支援事業、通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問介護、訪問看護を事業展開しています。



三重県四日市市の地域に密着した総合病院

**医療法人 尚徳会
みたき総合病院**

所在地：〒512-0911
四日市市生桑町菰池 458-1
電話：059-330-6000 (代表)

診療科目

産婦人科

内科

外科(乳腺・血管)

整形外科

脳神経外科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

麻酔科

リハビリテーション科

人工透析センター

2. 地域連携室「せせらぎ」

当院地域連携室には看護師1名とMSW1名が在籍し、業務内容は入退院調整から病診連携業務まで多岐に渡ります。

看護師は主に一般病棟の内科・外科等の患者のケースを担当し、在宅医療への移行が必要でもスムーズにできるようにしています。また、院内スタッフ、関係機関と連携してカンファレンスを積極的に行い、「退院支援加算2」や「介護支援連携指導料」を取っています。

MSWは回復期病棟と一般病棟整形外科患者を担当しています。回復期病棟では、当院は在宅復帰率が6割以上、重症患者(日常生活機能評価10点以上)が2割以上の条件を満たし、「回復期リハビリテーション病棟入院料2」を取っています。365日リハビリ、入院時・退院前自宅訪問、月1回の院内カンファレンス・リハビリ総合実施計画書に基づく家族説明を行っており、MSWはカンファレンスには必ず、家族説明にはできる限り出席し、医師をはじめ病棟看護師、リハビリセラピストと各専門職の立場から意見を出し合い、今後の患者への支援について話し合います。最近では介入が必要と思われる患者の自宅訪問にはMSWも同行するようになり、より深く支援ができていていると感じています。当院の回復期病棟患者の疾患割合は8~9割が脳血管疾患であり、様々な後遺症がある方の入退院を支援しています。どうしたら患者様・ご家族様が安心・安全に次の生活の場へ移行できるかを、日々考えながら業務に励んでいます。

3. 今後の展望

当院では今年史上初のMSW実習生を近隣の大学から1名受け入れ、10日間しっかりMSWの業務に密着してもらい、学んでいただきました。まだどの仕事に就くか悩んでいるところから始めた実習でしたが、終了する頃には「MSWになりたい」と言ってくれたことがとても嬉しかったです。当院ではMSWが私一人のため、毎年であたり複数人は難しいと思いますが、機会があればまた実習を受け入れ、彼女と同じようにMSWを目指す学生が増えてくれるといいなと思います。

また、平成28年1月から地域包括ケア病床(一般病棟内に10床)を開始し、今後は緩和ケア病棟と新外来棟の建設が予定されており、MSWとしてもまだまだ向上し続けていかなければならないと考えています。今後も関係する病院・施設・機関の方々と積極的に連携していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(文:MSW 天野絵里加)

業務の様子



地域連携室の案内



地域連携室外観



地域連携室内の様子



カンファレンスの様子



医師、病棟看護師、PTと一緒に

近隣
オススメ
グルメの紹介

**guruguru
pancafe**

四日市市西坂部町 3809-1 ☎059-333-3234
火曜定休 営業時間 10:00 ~ 18:00

ご夫婦で経営されている、ベーカリーカフェです。こじんまりしていますが、ランチメニューやカフェメニューが充実していていつも店内はいっぱいです。テラス席もあるので、ペットを連れてきてもOKだそうです。



協会トピックス～平成26年4月1日から身体障害者手帳の認定基準が改定～

ペースメーカーや人工関節を入れた方に対する身体障害者手帳の認定基準が変わりました。厚生労働省は、医療技術の進歩により、ペースメーカー(体内植込み型除細動器含む)や、人工関節(人工骨頭含む)を入れても大きな支障がなく日常生活を送ることができる方が多くなったことを踏まえ、医学的見地から検討を行い、身体障害者手帳の認定基準を見直しました。

人工関節などを入れた方(肢体不自由)



※1肩関節・肘関節も同様。

※2術後の経過の安定した時点での関節可動域などに応じて認定

ペースメーカー等を入れた方(3年以内の再認定)



ペースメーカー等の具体的な判断基準

心臓機能を維持するための機器(ペースメーカー等)への依存度や日常生活活動の制限の程度を勘案し等級認定を行います。

1級	・機器への依存度が絶対的な状態(クラスⅠ)でペースメーカー等を体内に入れた方 ・機器への依存が相対的な状態(クラスⅡ以下)でペースメーカー等を体内に入れ、身体活動能力が2メッツ未満の方
3級	・クラスⅡ以下の状態でペースメーカーを体内に入れ、身体活動能力が2以上4メッツ未満の方
4級	・クラスⅡ以下の状態でペースメーカーを体内に入れ、身体活動能力が4メッツ以上の方

- ・なお、体内に入れた後に日常生活活動の制限の程度が改善する可能性があることから、3年以内に再認定を行います。
- ・再認定は、身体活動能力に応じて行い、1級は2メッツ未満、3級は2以上4メッツ未満、4級は4メッツ以上とします。
- ・体内植込み型除細動器(ICD)を入れた方も同様の基準を適用します。
- ・先天性疾患(18歳未満で心疾患を発症した方)により体内に入れた方については従来通り。

今後の研修案内

実践を言語化する意義と方法

10月30日(日)

実践研究・事例研究の方法

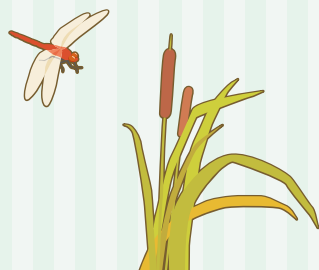
専門基礎研修③

12月18日(日)

実践に活かせる

ソーシャルワーク理論の基礎

詳細は協会から届くご案内を参照してください。どちらも内容盛りだくさんの充実した研修となっております。ふるってご参加ください。お待ちしております。



編集後記

夏真っ盛りの中、協会ニュースの担当が変わり、慣れない作業で四苦八苦。それでも4人で協力してやっと出来上がりました。これが皆さんの手に届く頃は夏が過ぎ、秋の入り口頃。どうか多くの方に読んでいただけますように。次号も内容盛りだくさんでお届けできるように頑張ります。お楽しみに。

担当:丹羽・天野・磯村・松田

編集・発行 三重県医療ソーシャルワーカー協会
ホームページ <http://mie-msw.com/>

事務局 老人保健施設みえ川村老健

☎059(355)3838

〒510-0810四日市市城東町3-21